



沿道で大勢の観衆が見守る中、優勝目指して一斉にスタートする選手ら。31日午後、長野県松川町で（今泉慶太撮影）

## 南信 サイクル疾走 全日本実業団ロードレース

「第一回全日本実業団サイクルロードレースin南信州松川」（同実行委員会、全日本実業団自転車競技連盟主催、中日新聞社共催）が三十一日、長野県松川町の上大島周回コースで開幕した。 関連⑩面

初日は一周四キロ、標高差百五十メートルのコースを十五周（計六十キロ）する「B1」のレースがあり、全国の百四十八選手が中央アルプスの麓の丘陵地帯を疾走。神奈川県湘南ベルマーレ・コムレイドの頓所哲郎選手（三）が初優勝した。

一日は、プロ選手や本場ヨーロッパを転戦する選手らがエントリーする「TR」など、三つのカテゴリーのレースがある。